

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22014	事業名	下水道ストックマネジメント対策事業		評価分類	A1		
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()							
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	13:下水道事業会計	
		基本施策	03:上下水道の充実				款	資1:資本的支出	
		施策の方向	02:生活排水対策の推進				項	01:建設改良費	
重点プロジェクト		-			目		01:管渠整備費		
事業期間	H 29 年度 ~ R 7 年度		主な根拠法令等	下水道法、都市計画法					

担当部署	
部	上下水道部
課	下水道課 下水道工務G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	健全な生活環境や公共用水域の保全・維持のためには、施設の適切な維持管理が必要不可欠であることから、公共下水道施設の老朽化に起因した事故発生や機能停止等の事態を未然に防止する必要がある。	下水道供用開始区域内の市民	ストックマネジメントを推進し、長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進行状況に応じた対策を講じ、施設管理を最適化することにより、持続的な下水道機能を確保する。	亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、維持管理を起点としたマネジメントサイクルの確立を図り、老朽化が進む下水道施設に優先順位付けを行った上で、施設の点検・調査・修繕・改築を実施する。

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業計画		○改築工事		○改築工事		○改築工事		○改築工事 ○ストックマネジメント計画の見直し	
活動実績 (計画通り実施できたか)		下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に老朽化した下水道管渠の改築工事を実施した。		下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に老朽化した下水道管渠の改築工事を実施した。		下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、亀山市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的・効果的に老朽化した下水道管渠の改築工事を実施した。			
計画額	事業費	事業費	60,000千円	60,739千円	60,000千円	60,000千円	37,000千円	60,000千円	87,000千円
		国・県支出金	19,000千円	19,000千円	26,500千円	8,000千円	13,500千円	13,500千円	33,400千円
		地方債	41,000千円	41,700千円	33,500千円	49,000千円	23,500千円	34,500千円	53,600千円
		その他		39千円		3,000千円		12,000千円	
		一般財源		0千円	0千円	0千円		0千円	
決算額	事業費	事業費		60,739千円		55,150千円		40,999千円	
		国・県支出金		19,000千円		7,100千円		13,500千円	
		地方債		41,700千円		48,000千円		27,400千円	
		その他		39千円		50千円		99千円	
		一般財源		0千円		0千円		0千円	
①期間内計画額(R4-7)		244,000千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額 244,000千円	

③ 事業の実施状況 (P・D)

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	60,000千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	管渠改築・更新率 各年度末の管渠改築・更新率 (管渠改築更新実施済延長/計画期間内の計画対象管渠延長)	成果	%	計画値	30	53	81	100
				実績値	33	66	86	
				計画値				
				実績値				

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C)	A 下水道管渠の施設が最も古いみどり町地内において、老朽化の進行状況に応じた改築工事を実施した結果、管渠改築・更新率は86%となり、目標値を達成することができた。
	十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
⑤ (再掲)	下水道供用開始区域内の市民
	ストックマネジメントを推進し、長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進行状況に応じた対策を講じ、施設管理を最適化することにより、持続的な下水道機能を確保する。

事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
⑥ 課題 (C)	下水道施設のストックは膨大であり、全ての管路を点検・調査及び修繕・改築していくためには、多大な労力、時間、費用を要する。社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)等の財源確保に努め、下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的かつ効果的な修繕・改築を実施していくことが必要である。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
改善・見直し内容	
	令和7年度で対応する(した)もの 汚水管改築に伴う、主要な財源である社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)は、令和9年度以降に官民連携方式(ウォーターPPP)の導入が交付要件とされたことから、導入に向けて、民間企業ヒアリングや各種手続きを実施する。
	令和8年度以降で対応するもの 官民連携方式(ウォーターPPP)の導入を進めることで今後も財源確保に努めるとともに、下水道ストックマネジメント計画に基づき、効率的かつ効果的な修繕・改築を実施する。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑦ 【履歴】	成果判定	A	A	A
	事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	上下水道部 下水道課 下水道工務GL 谷 徹
最終評価者	上下水道部 下水道課長 宮崎 伸二